学校番号	２０２

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公民探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の民主主義の担い手として、時事問題に当事者として意識を持ち、現代社会の諸課題について深く掘り下げてみよう。
・主権者としての自立を可能にするために、身近な現代の諸課題に対して、自主的に調べたり発表したり、グループワークなどを通して他者と共に学び、問題解決を意識した活動に取り組もう。

2　学習の到達目標

現代の民主主義の基本的な仕組みを理解する。また、現代の諸課題に対して関心を高め、自ら問題解決を試みる思考力・態度を養う。加えて、他者と共に、主体的に生きる公民としてのあり方を模索し、それを積極的に実践しうる力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・現代の諸課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する。また、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現し、構想したことを議論したりしている。	・意欲的に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付ける。また、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	政治分野	○政治分野 ・司法制度 ・主権者教育 ・情報社会 ・地方自治 など	a:民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて理解している。 b: 地方自治の原則としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の形態と意義について理解するとともに、地方自治の課題について考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c:国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検(ノート、ワークシート等)	記述の点検(ノート、ワークシート等) 行動の観察

2学期	経済分野	○経済分野 ・働き方 ・社会保障 ・税 ・環境問題 など	a: 働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。 b:人権保障の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を多面的に考察し、その考察過程や結果を表現している。 c: 有限な資源を将来にわたってどのようなルールの下で維持・管理するのか、国家間の利害が錯綜する課題解決としてのルールや国際協力について考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検(ノート、ワークシート等)	記述の点検(ノート、ワークシート等) 行動の観察
3学期	現代の諸課題	○現代の諸問題	a: 現代の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析・考察し、その知識を身に付けている。 b: 探究の結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したり社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 明確になったこと，明確にならなかったことも含めて研究の成果を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検(ノート、ワークシート等)	記述の点検(ノート、ワークシート等) 行動の観察

※表中の観点についてa:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度